



2008年10月12日
号外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

衆院予算委 菅代表代行先頭に政府を追及

解散・総選挙求める

衆議院予算委員会が6日から8日まで開かれ、民主党から、長妻昭、菅直人、筒井信隆、松本剛明、岡田克也、前原誠司、川内博史、笠浩史、細野豪志、馬淵澄夫、武正公一、原口一博各議員が質問に立ち、わが党の見解を示しながら、政府を追及しました。

必要な財源示す 政府は財源示さず

菅代表代行は冒頭、麻生首相に対して、安倍、福田両首相同様に国民の信を得ないまま政権に居座ることのないようにと釘をさしました。小沢代表が代表質問の「所信表明」で明らかにした「新しい生活をつくる民主党5つの約束」を示し、「明治以来の国の形を変えることになる」として、ガソリンの暫定税率廃止、高速道路の無料化、農業者戸別所得補償制度、子ども手当のなど政策を段階的に実施していくことを明らかにするとともに、民主党のこれらの政策に関して財源規模、年度ごとに必要な財源も詳細に説明しました。



菅代表代行はそのうえで、基礎年金の国庫負担引き上げのための財源を明らかにするよう政府に迫りましたが、麻生首相は明示せず、さらに、政府・与党が表明した定額減税の財源を選挙前に明確にするよう追及したのに対しても、財源には一切言及しないままでした。連立与党を組む公明党の斉藤環境大臣も明言しませんでした。菅代表代行は内需拡大につなげる政策を民主党が提案していることを強調するとともに、「民主党5つの約束」にもあるように雇用の不平等を是正していくべきと指摘すると、麻生首相も賛意を示しました。

鳩山幹事長 政権交代実現を訴え

医療費削減でなく健康増進を

鳩山由紀夫幹事長は5日、茨城県鹿嶋市で、石津正雄・茨城県第4区総支部長と揃って街頭演説。ショッピングセンターの駐車場を借りての街頭演説には約



700人の聴衆が街宣車の周りを囲み、熱気と期待感が会場を埋め尽くしました。

鳩山幹事長は、「医療費がかさむからお年寄りの医療費5000億円を減らそうとしてきたのが小泉政権、安倍政権、福田政権、そして麻生政権なのだ」と断じたうえ、財務省の論理で医療費削減を行うのではなく、予防医学に着目し、高齢者の健康増進に力を注いだ、石津総支部長の大洋村村長としての実績こそが、現在の政治に求められていると訴えました。

さらには、消された年金、汚染米など、続出する問題は、自民党政治家・官僚・業界間での甘い関係がもたらしたものであるとも分析。政権交代によって社会的構造自体を改めない限り、根底から膿を出すことはできないとも断じ、政権交代へ民主党への支持を訴えました。

公認内定・推薦を追加決定

民主党は次期衆院選の公認内定候補として、長野4区＝矢崎公二さん(49歳・新・毎日新聞編集局副部長)、山口4区＝戸倉多香子さん(49歳・新・山口県連副代表)、宮崎2区＝道休誠一郎さん(55歳・新・会社社長)を、また、推薦候補として、大分2区＝重野安正さん(66歳・現・社民党幹事長)、宮崎3区＝松村秀利さん(51歳・新・社民党宮崎県連幹事長)、沖縄1区＝下地幹郎さん(47歳・現・国民新党)を9日までに追加決定しました。